

Hospital Information

患者さまの権利と義務の規範について



院長
中尾 量保

大阪けいさつ病院は右に掲げる「理念」に則り、地域の中核病院として「リーディングホスピタル」になろうという大きな目標を達成するための「基本方針」を下記のように策定しています。

日本病院会は「患者の権利と責任」(1982年)を、日本医師会は「医の倫理綱領」(2000年)を制定し、患者さんの立場に立ってその権利を主張するとともに、医師もまた常に医学の知識と技術の習得に努め、患者さんに医療内容をよく説明し、信頼を得るよう目標を掲げています。

医療は患者の皆さまのためのものであり、従って私達は皆さまの人権を尊重しながら、最善の医療を提供するよう努める所存です。



大阪けいさつ病院

理念

人々の健康と幸せのために、人権を尊重しつつ「愛・熱・和」の精神をもって質の高い医療を提供します。

基本方針

大阪けいさつ病院は、患者の皆さま中心に質の高い医療を提供するため、次のことをめざします。

【人権】

患者の皆さまの基本的な人権を尊重し、平等に医療を受けられるよう配慮します。

【医療の質】

急性期病院として、安全かつ高度な医療を実践し、皆さまの満足を得られるよう努力します。

【地域への役割】

地域の中核病院として、他の医療機関との連携を高め、住民の皆さまの健康を守ります。

【職員の行動指針】

患者さまのため医の倫理を尊重し、常に自己研鑽し、誠意を持って行動します。

患者様の権利と義務

大阪けいさつ病院は、理念と基本方針を実践するため、ここに「権利と義務」の規範を掲げます。

1. 個人の尊厳及びプライバシーが守られること
2. 平等かつ最善の医療が受けられること
3. 自己の病気や治療に関する情報を知り、十分な説明を受け、自ら決定すること
4. 最善の治療を受けるため、関連する自己の情報を提供していただくこと
5. 他の患者の皆さまの療養生活を脅かさないよう配慮していただくこと

健康わんぱいとレッスン

（小児における腸管疾患）

小児科領域で腸管疾患は感染症が多く、腹痛、下痢などで来院されるお子さんの多くが感染性腸炎です。その中にはサルモネラ、キャンピロバクター、大腸菌などの細菌群に加え、小型球形ウイルスや乳児の白色便を特徴とするロタウイルスなどのウイルス性腸炎もあります。これらの感染性腸炎の中でも血便、しぶるような腹痛といった症状の強い例やO157のように尿毒症に至る例もありますので、嚴重な注意が必要です。また乳児期に多い腸管疾患に腸重積があります。腸管が上のほうへ入り込んで重なるため重なる部分の血流が不足し腸管が壊死に陥る疾患です。症状出現後長時間を経過すると手術が必要な場合もあるため早期発見が肝要です。また感染症以外で腹部症状が持続する疾患に炎症性腸疾患(Ⅱ)があります。青年期に多い疾患ですが近年学童や学童期前の小児にも増加傾向があります。多くの感染性腸炎では症状が2週



間以上になることは稀であり、それ以上症状が持続するようなら口を疑う必要があります。代表的な口のうち潰瘍性大腸炎(UC)は病変が直腸から上のほうへ連続するたため大腸内視鏡検査で診断が比較的つきやすいのですが、もう一つのクローン病(CD)は消化管のどの部位にも発症し、病変が連続しないため診断に苦慮する場合も少なくありません。またCDはUCとは異なり下痢、血便がはっきりしないことがあり、長く続く発熱や体重減少で気づかれた例も少なくありません。いずれにしても早期発見、早期治療が大切ですのでこのような症状がありましたら、早めの受診をおすすめいたします。



小児科副部長
澤田 敦

（大腸癌の早期発見と治療）



1 大腸癌は、増えていますか？
近年食事の欧米化に伴い急速に増加しております。

2 大腸癌の診断はどのようにしますか？
集団検診は、便潜血反応で行います。2次検診は大腸内視鏡検査を受けられる事をお勧めします。

3 大腸内視鏡検査はつらいですか？
腹部の手術や腹膜炎等の既往がある患者様は、癒着のため痛みがある場合があります。当院では本年1月より鎮静剤、鎮痛剤投与の患者様に対応できるようにリカバリ室を整備しました。ご希望の方は、担当医にご相談ください。

4 大腸癌の治療はどのようにしますか？
早期の粘膜内癌は、内視鏡摘除を行います。平たい癌もお薬を粘膜下に注射して盛り上げ、電気で焼き切ります。通常3〜5日の入院が必要ですが、小さい腫瘍は外来で切除できます。内視鏡摘除の適応のない大腸癌は、外科的に切除します。当センターの赤松副センター長(外科副部長)が担当しております。大腸癌の手術は、進行癌も含めて80%を腹腔鏡補助下に施行しております。



消化器内視鏡医療センター長(内科副部長)
阿部 孝

1日(日帰り)ドックのご案内

当院では、従来より宿泊(1泊2日・2泊3日)のドックを行ってまいりましたが、この度、宿泊ドックが難しい方のために、期間限定(3月17日~4月末日迄のみ)で1日(日帰り)ドックを企画いたしました。

1日(日帰り)ドックの詳細をお知りになりたい方、利用を希望される方は、下記までご連絡ください。

費用:45,000円(税込み)
 大阪警察病院入院センター 06(6775)2823(直通)
 健診センター 06(6771)6051(内2700)
 大阪警察病院総合健診センター

クリスマスコンサートが開催されました

やっと冬らしい寒さになってきた12月13日(土)、当院1階玄関フロアにおいて、少し早目のクリスマスコンサートが開催されました。



このコンサートは、入院中の患者さまや外来で通院されている患者さまに、少しでもクリスマスの雰囲気を感じていただきたいの思いから毎年開催しております。

さて、今年は山口はやとさん(歌)と片田早苗さん(ピアノ)によるソロコンサートと、当院コーラス部の唱歌メドレーをお届けしました。山口さんと片田さんは「待ちぼうけ」や「荒城の月」などの懐かしい歌を10曲ほど披露してくださいました。

来年もどうぞお楽しみになさってください。

連携医院のご紹介



竹田 真理子 医師

丹生(にぶ)医院 (耳鼻咽喉科・アレルギー科)
 西区本田3-7-8 電話/06-6581-0090

大阪警察病院を退職し、父の診療所で仕事を始めて約2年です。小児耳鼻咽喉科(滲出性中耳炎)、アレルギー性鼻炎(CO2レーザー治療)を主として、日々の診療を行っております。

日々の診療は病院と異なり、小児の患者さまが多く、私はもしかしたら幼稚園の先生かもしれないと思うこともしばしばです。ですから耳鼻科以外のいろいろな相談を保護者の方から受ける機会が多くなりました。そんな時に警察病院の先生方に助けていただき、本当に感謝しております。

診療所ゆえ治療・検査の制限がありますが、警察病院にお願いすれば安心!と患者さまに自信をもってご紹介できる病院だと考えております。この度開設された、地域医療連携センターが、地域医療の窓口としてますます発展されることを期待しております。

病気と栄養

大腸がん予防のための食事

さまざまな疫学研究から、がんと食生活には密接な関係があることが明らかにされています。中でも大腸がんの危険要因として高脂肪食があげられており、抑制因子としては多くの生活習慣病と同じくカロチン・ビタミンC・Eがあげられています。また、食物繊維の摂取と大腸がんの発生には因果関係がないとの報告がありますが、腸内環境を良好に保つためには適量の摂取が必要です。

【食事の工夫】

- ①脂肪はとり過ぎないようにしましょう。
調理に使用する油以外に肉類の脂身など、食品自体に含まれる油脂にも注意しましょう。
- ②抗酸化ビタミン(カロチン・ビタミンC・E)をとりましょう。
カロチンを多く含む食品(緑黄色野菜)、ビタミンCを多く含む食品(野菜類、柑橘類、芋類)、ビタミンEを多く含む食品(緑黄色野菜、胚芽、豆類)を摂取しましょう。
- ③日常的に乳酸菌を含む食品や飲料、野菜類の摂取を心がけましょう。
多くの腸内細菌のバランスを良好に保つことが望めます。乳酸菌などの有用菌はヨーグルトなどの発酵乳製品に多く含まれており、食物繊維の摂取は有用な腸内細菌を育てるために必要です。

栄養管理課 西尾 勢津子

編集後記

今年も患者様に役立つ情報を満載し、当院のことをよく知っていただける紙面作りをしていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

小児科部長 西垣 敏紀

小児科



診療科のご紹介

小児科は、発熱、咳、鼻水、下痢、嘔吐といった症状で受診されるお子さんが多いですが、特にお子様の全身状態を見極めて適切な治療を行なうよう努力しております。感染症だけでなく、お子様の発育、発達についての心配、小中学生になると、日常生活の中で身体の不調に気づかれ心配されることもあると思いますが、外来ではそのようなこともお気軽にご相談ください。

たとえば、身長や体重、二次性徴などの身体の心配は多いものです。考えられるほど異常でないこともありますが、低身長は検査や治療が必要なものもあり、肥満は、いわゆる生活習慣病の若年発症の原因ともなることから、早期の栄養指導を含めた管理が必要で、これらについては必要であれば入院の上、検査、指導を行なっています。

また、子どもは、心身ともに発達途上であることから、「心」に関係した「体」

の症状、すなわち全身倦怠感、頭痛、腹痛等の不定愁訴あるいは食欲不振、睡眠障害等を訴えることもしばしばあり、学校を欠席しがちになることもあります。自律神経の働きの不調が関係しており、薬により症状が改善する場合がありますが、心理、社会的な要因が強く関係しているときは、カウンセリングを取り入れた治療も考慮しなくてはなりません。当科では、一般外来とは別枠でカウンセリングや箱庭療法を行っています。

さらに、同じ年頃の友達と遊べない、かんしゃくを起こしやすい、落ち着かない、忘れ物が多いといった症状の中には、近年マスコミでも時々取り上げられる自閉症、学習障害、注意欠陥・多動性障害などの疾患のことがあります。より専門的な医療機関での検査等が必要なものもありますが、ご相談ください。



小児科部長 西垣 敏紀

看護ケア外来のご案内

平成14年6月、当院に4つの看護ケア外来が開設されました(下記参照)。開設の目的は、慢性病を持ちながら生活している患者様を支援するというもので、現在の当院の外来に通院している患者様を対象に、専門的な知識と技術をもっている看護師が患者様に応じて、在宅療養の支援を行っています。スタッフ一同、皆様に質の高い看護を提供できるよう努力していますので、どうぞご利用ください。

看護ケア外来	設置場所	対象
糖尿病看護	内科外来	インスリン自己注射をしている患者様
在宅酸素療法	呼吸器科外来	在宅酸素療法をしている患者様
在宅自己導尿	泌尿器科外来	在宅自己導尿をしている患者様
ストーマ看護	外科外来	ストーマを造設している患者様

*費用は、医療保険(在宅療養指導料)で3割負担の場合510円(お一人様1回30分以上)です。
 *実施日、時間等、詳細については各看護ケア外来(設置場所)にお問い合わせ下さい。

看護部 添田 百合子

患者さまへお願い

私どもは、日々、患者さまにとって最良で適切な治療・看護が、安全で、安楽に提供できますよう、努力しております。そのことにあたり、患者さまに下記のご提案事項および「ご協力をお願い」がございます。

①「診察時の心得:工夫」

あなたが「いのちの主人公」から「だの責任者」
 厚生省提示「医者にかかる10か条」より

- 1、伝えたいことはメモして準備しましょう。
- 2、対話の始まりはあいさつから。
- 3、よりよい関係づくりはあなたにも責任が。
- 4、自覚症状と病歴はあなたの伝える大切な情報。
- 5、これからの見とおしを聞きましょう。
- 6、その後の変化も伝える努力を。
- 7、大事なことはメモをとって確認。
- 8、納得できないときは何度でも質問を。
- 9、治療効果をあげる為に、お互い理解が必要。
- 10、よく相談して治療方法を決めましょう。

私どもも、患者さまがこれらのことをおききしやすいよう、努力してまいります。

②「安全な医療の為にご自身の氏名を自ら名乗って頂きたいこと」

外来受診やご入院中に、診察時、検査や注射を受ける時など、たびたびお名前を呼ばれることがあると思います。その際、ご本人とカルテ・診察券・リストバンドなどを照合し、間違えないように気をつけておりますが、「はい」とお返事されるだけでなく、患者さま自ら、「ご自身のお名前をフルネームでお伝え願います」と、より安全に確実に伝わります。

※これらのことは、患者さまにとって、「患者さま参画型の、安全でスピーディーな医療・看護」に繋がりますので、ご協力をよろしくお願い致します。

- 突発時の早期対応のために -

いざという時の準備!! - より早く的確な治療を受けるために -
 日頃より財布など、身に付けるものに入れて常備しましょう。

氏名	警察 太郎
生年月日	昭和20年5月18日生 57歳 男
住所	大阪市天王寺区北山町10-31
TEL	自宅06-6771-6051 携帯000-0119-0119
既往歴	40歳 交通事故 右大腿骨折(ブレード固定) 48歳 左突発性難聴(左耳ほとんど聴こえない)
持病	(現在治療中の病気) 糖尿病・狭心症・高血圧
いつも飲んでいる薬	・ワーファリン ・ニトロール ・アダラートL ・アマリール
かかりつけの病院・医院	大阪警察病院 外科 中尾先生 TEL06-6771-6051
アレルギー・禁忌	ビリン禁忌
連絡してほしい人	長男 警察一郎
連絡してほしい住所	大阪市天王寺区.....
連絡してほしい連絡先	自宅06-119-0119 携帯090-000-000



医療安全管理センター 看護副部長 志摩 久美子